

口永良部島

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、2 (やや活発な火山活動) でした。

概況

火山性地震、火山性微動ともにやや多く、新岳火口の北側の噴気が見られるなど、火山活動はやや活発になっています。

噴煙活動の状況

8日に京都大学防災研究所附属火山活動研究センターおよび上屋久町役場口永良部島出張所から新岳火口底や火口外の噴気地帯の噴気量が増加しているとの情報を得ました。監視カメラによる観測では8日に噴気は見えませんでした。11～14日に新岳火口の北側の噴気地帯から白色でごく少量の噴気が10～40mの高さに上がるのを確認しました(図1)。

地震・微動活動の状況

火山性地震は日に2～28回で、月回数は234回(1月:346回)とやや多く発生しました(図2)。火山性地震の震源は6個求まり、主に新岳火口付近に決まりました(図3)。火山性微動は日に0～3回とやや少ない状態で経過しましたが、15日には10回と多い日もありました。月回数は36回(1月:59回)でやや多く発生しました(図4)。



(a) 8日 15時00分の映像
新岳の噴気は確認できない。

(b) 11日 09時00分の映像
新岳火口北側の噴気地帯から、白色でごく少量の噴気が20m上がっている。

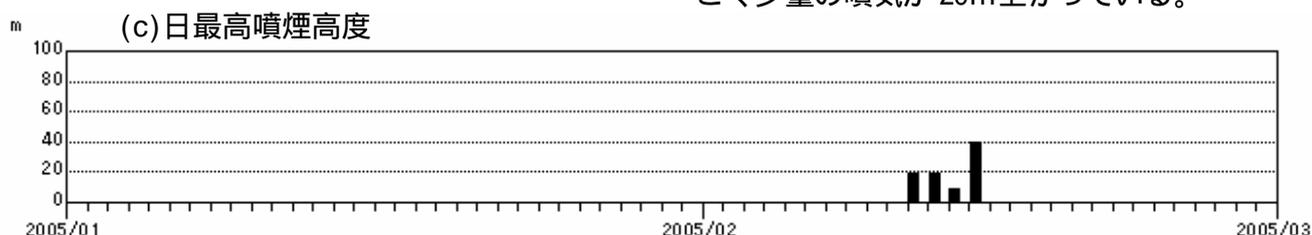


図1 監視カメラの映像と日最高噴煙高度(2005年1月1日～2月28日)

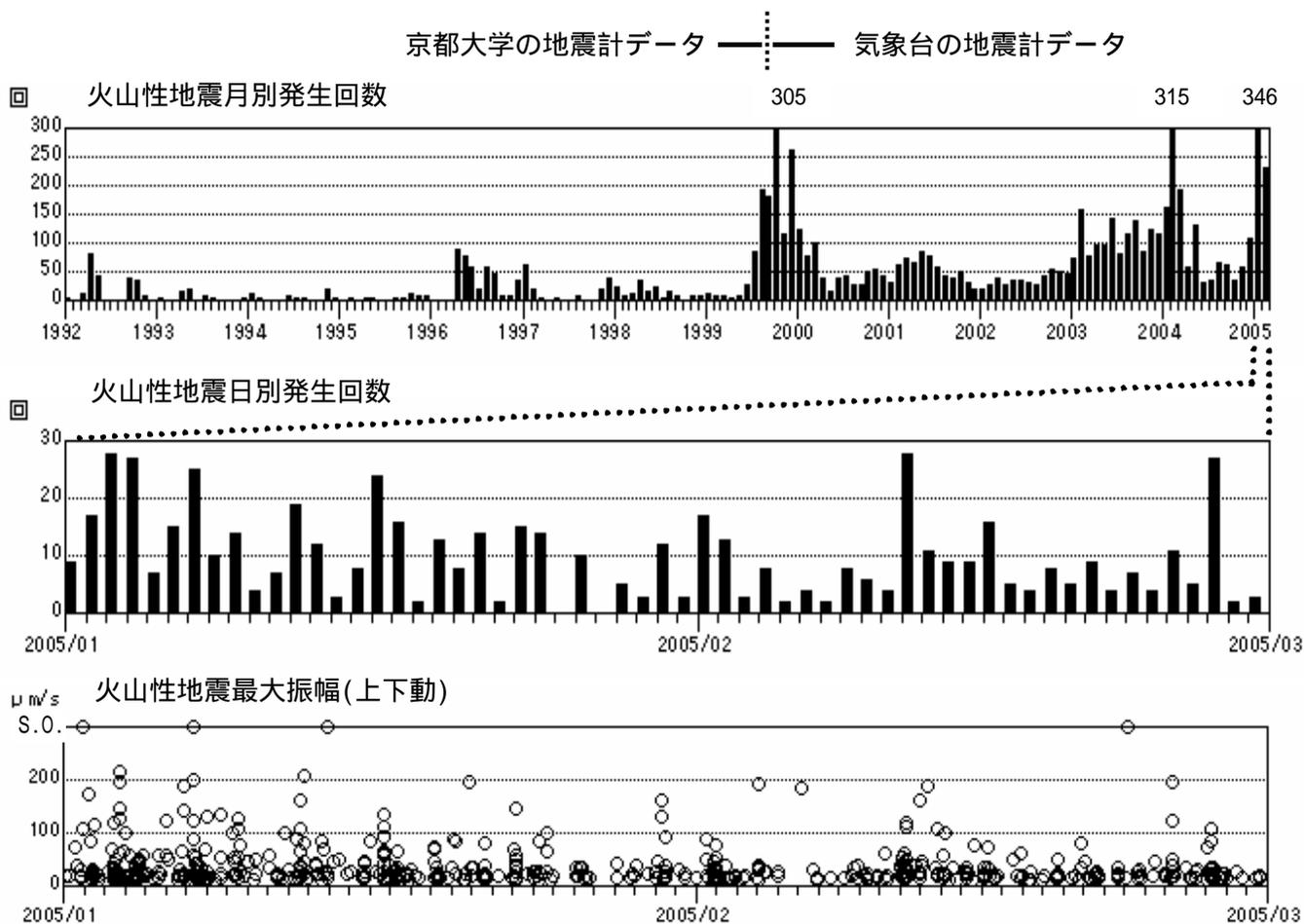


図2 火山性地震活動経過図(1992年1月1日～2005年2月28日)
1999年9月12日までは、京都大学のデータを利用

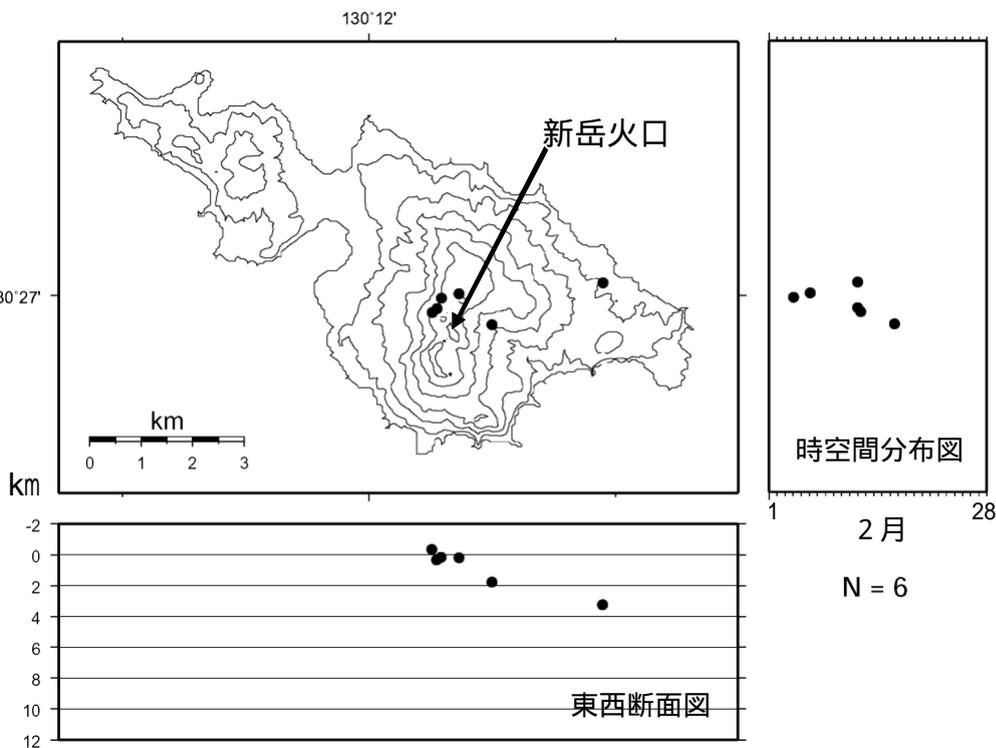


図3 火山性地震の震源分布(2005年2月1～28日)

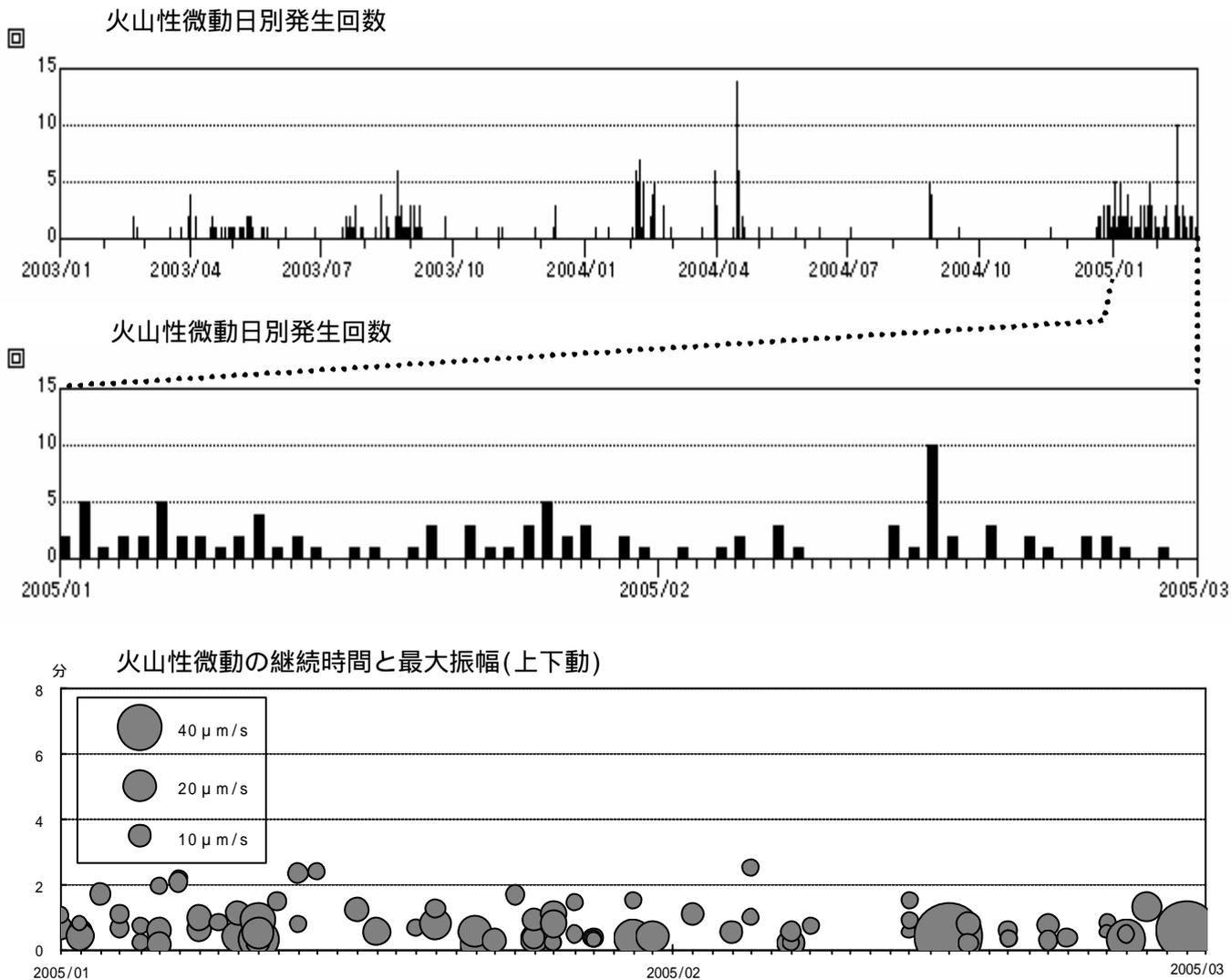


図4 火山性微動活動経過図(2003年1月1日～2005年2月28日)

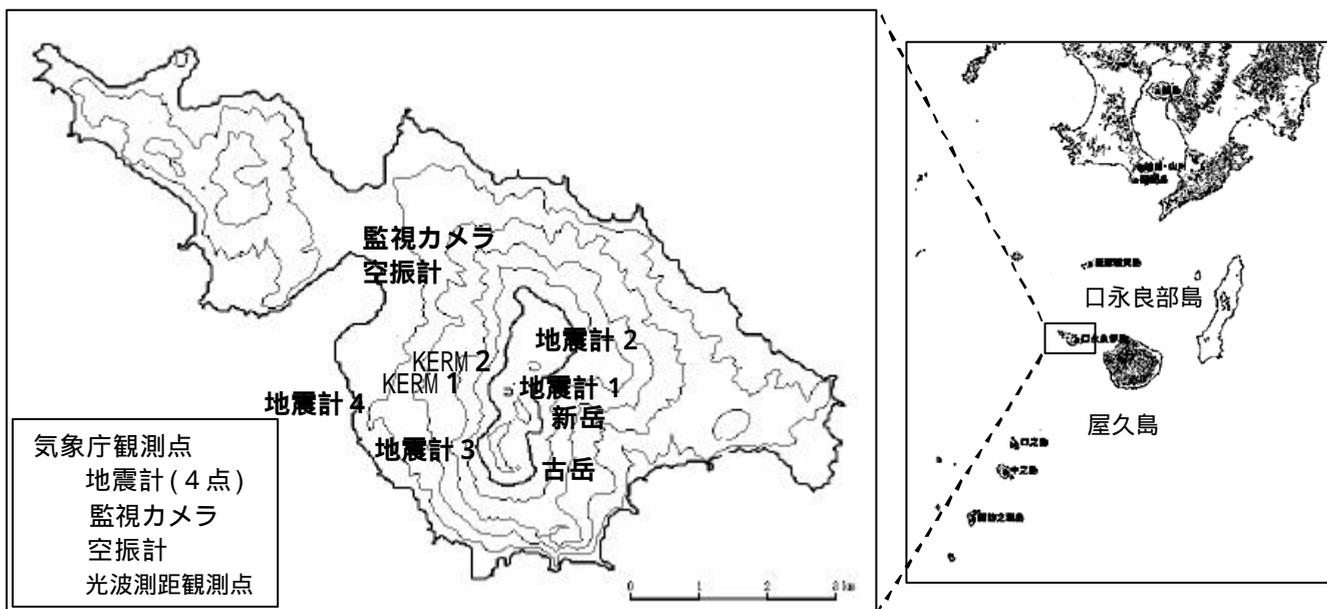


図5 観測点位置図

口永良部島